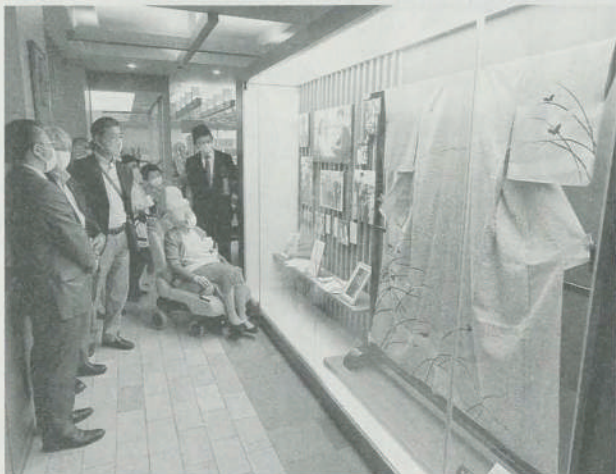


家庭教師が縁…着物やサインノートなど

ひばりさん 思い 出品々



戸田中央総合健康管理センターに展示された美空ひばりさんの着物＝戸田市で

戸田の健診施設
15点を常設展示

1989年に52歳で亡くなった国民的歌手、美空ひばりさんの思い出の品が戸田市の戸田中央総合健康管理センターに常設展示された。同センターのロビーにある戸田中央医科グループの中村隆俊会長の記念館リニューアルにあわせ、ひばりさんの展示コーナーを設置。関係者を招いてお披露目された。

中村会長は、ひばりさんが小学6年から中学3年までの間、家庭

教師を務めた。その縁で現在もひばりさんの長男で「ひばりプロダクション」の加藤和也社長と交流を続けており、加藤さんからは、ひばりさんが身につけていた着物の寄贈を受けた。

展示されているのは、着物のほかサインの練習用ノート、パネル写真など約15点。着

物にはひばりさんが好きだったチョウの柄が描かれ、締めた帯の跡も残っている。お披露目式に出席した加藤さんは「仕事のため学校とは縁遠かった母にとって、(中村会長からは)いろいろなことを教わったと思う。このような形で展示してもらえて大変光栄」と話した。

【鈴木篤志】